



(9月23日、曲田地区祭典)

先人から 受け継ぐ(14) まが た さき はら 曲田先祓い

曲田先祓いの由来は一説には、承平3(933)年に御祖長根のふもとに祠を建立し、天下泰平や五穀豊穡を祈願した田山左近をしのび、その霊を慰めるため、永正4(1507)年に行われた祭りで、当時の左近の姿を再現して舞われたものと伝えられています。曲田地域への伝播時期は不明ですが、他の先祓いより古いのでは

ないかと言われています。

荒屋新町の秋葉神社の祭礼で、神輿行列の先頭で踊られているほか、9月23日の曲田地区祭典のときには、曲田正観世音神社境内で奉納されます。

◎保存会代表 齋藤勝雄さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和52年4月6日(旧安代町指定)



議会には、民意を反映した「意思決定」と行政の「チェック機能」を十分に発揮することを期待します。そのために、民意がどこにあるかなど、テーマを設定して議員同士が自由に討議できる場を設けてはどうでしょうか。

来年の4月から地区公民館がコミュニティセンターに移行されますが、市民生活のほとんどが歩いて行ける範囲で済ませることができるとコンパクトシティの発想を大切にし、自治公民館とコミュニティセンターが連携して活動を展開させなければならないと思います。市職員には、積極的に自分の住む地域に入り込み、市民と一緒に地域づくりに取り組むことを希望します。

市民の意見反映と チェック機能充実を



千葉孝志さん(両沼)

議会のまど